



【置かれた場所で咲きなさい】

令和5年3月14日（火）第76回大村市立西大村中学校卒業証書授与式が執り行われました。3年ぶりのご来賓や保護者の方々、在校生の出席の下、厳粛な雰囲気の中で涙と感動のある式となりました。多くの方から、「感動的で心に残る素晴らしい卒業式でしたね！ありがとうございます！」という言葉いただきました。



【～式辞の一部抜粋～】

この節目にあたり、皆さんに二つの言葉を贈りたいと思います。

一つ目は、創意工夫により新しくものを作り上げるという意味の「自分なりの創造」という言葉です。次世代を担う皆さんがこれから歩む社会は、少子高齢化、グローバル化、環境変化、AIの進出などにより社会変化が激しく、誰も想像しえない予測困難な社会だと言われています。そんな社会において、私は、「創造」がキーワードになるのではないかと考えています。「創造」は「単に物を作る」と違い、そこに自分なりの創意工夫が盛り込まれています。つまり、何もないところから、少しでも良いものになるよう工夫改良を重ねながら、形あるものに創り上げていくことです。また、その成果物は、唯一無二なるものです。これからの時代、この「唯一無二なる創造する力」がものをいいます。どんな困難に直面しても、自分なりの「創造」による考え・判断・行動で解決し、生き抜いていくことが大切です。

二つ目は、「置かれた場所で咲きなさい」という言葉です。

この言葉は、元 ノートルダム清心学園 理事長の 渡辺和子さんが残された言葉です。

人は、誰でも花開く優れた能力を持っています。ただし、その能力が既に花開いているのか、まだ、「つぼみ」の状態なのか、それは、人によって違います。また人は、自分でまだ気付いていない「つぼみ」を、自分の内にたくさん秘めています。これを「可能性」と言います。つまり、みなさんの新しい「つぼみ」が花開く可能性は、これからまだまだ沢山あるということです。人や社会との関わりを大切に、全ての命を大切に、友達を大切に、そしてなによりも自分を大切に生きてください。平凡でいいんです。あなたは、あなたでいいんです。あなたらしい自分の生き方で、あせらず、あわてず、一步一步確かな足どりで歩き出し、つぼみを開花させることが大切です。

【4月の行事予定】

- 4月 7日（金） 令和5年度 第1学期始業式
- 4月10日（月） 令和5年度 中学校入学式
- 4月11日（火） 身体測定
- 4月14日（金） 歓迎遠足
- 4月18日（火） 全国学力学習状況調査・県学力調査
- 4月19日（水） 県学力調査
- 4月26日（水） 授業参観、PTA 総会
- 4月27日～28日 3年実力テスト

保護者の皆様、1年間、大変お世話になりました。来年度もよろしくお願いたします。

【人事異動による転出の先生方】

- 副校長 坂田幸広 大村市教育委員会学校教育課へ
- 教頭 加藤稚子 大村市立萱瀬中学校へ
- 教諭 黒木裕三 大村市立桜が原中学校へ
- 教諭 近藤浩一 県立桜が丘特別支援学校へ
- 教諭 尾下美典 大村市立玖島中学校へ
- 教諭 若杉雅子 大村市立大村中学校へ
- 講師 平子陽大 大村市立桜が原中学校へ
- 学向上補助員 萱野智恵美 大村市立郡中学校へ
- 学校司書 高場友紀 大村市立旭が丘・東大村小学校へ
- A L T ウィブリー・ジェイムス ニュージーランドへ帰国

生徒のために
ご尽力いただき、
ありがとうございました。